

名句が滑稽句に変身第二弾 ③

小林英昭

第二弾も最終回となりました。うまく変身できていますかどうか。

名句 首出して湯の真中に受験生 長谷川双魚

先生はいつも真中チューリップ

家族が寝静まった頃に、ちょっと冷めた風呂に入ってさっき取り組んだ英語の単語を牛のごとく反芻しています。読者に想像させるリアリティがありますね。変身句は、学生時代の記念写真の思い出です。

名句 冷蔵庫ひらく妻子のものばかり 辻田克巳

冷蔵庫賞味期限切れのものばかり

はじめは「冷蔵庫ぎっしり夫の缶ビール」とつくったのですが、こちらに替えました。

名句 子へ贈る本が筆筒に聖夜待つ 大島民郎

子の欲しいおもちゃ隠して聖夜待つ

どこの家庭でもそうでしょう。子どもが欲しいものをあらかじめさりげなく聞いておいてどこかに隠して置くのがクリスマスのプレゼントです。

名句 月光にいのち死にゆくひとと寝る 橋本多佳子

月光と添ひ寝してゐる山頭火

その日暮らし、独り暮らしの山頭火は、毎晩、月の光と添ひ寝します。ふと、来し方行く末を考え始めるのですが、酔っぱらってすぐに寝てしまうのでした。

名句 ピストルがプールの硬き面にひびき 山口誓子

ピストルがアンツーカーの面にひびき

名句の方は水泳競技で、こちらは陸上競技です。

名句 日盛りに蝶のふれ合ふ音すなり 松瀬青々

離れでは蝶のふれ合ふ音すなり

蝶の触れ合う音とはどんな音でしょうか。人間でいえば衣擦れの音になるのでしょうか。道ならぬ恋の真昼の情事をイメージしました。

名句 菊人形たましひのなき句かな 渡辺水巴

たましひは抜いてあるなり菊人形

菊人形のかんばせは死人のそれです。美しければ美しいほど、生身の生を感じません。

名句 かたまつて生きるさびしさ蝌蚪も人も 島谷征良

人も蝌蚪もとかく小者は群れたがる

春、小川で見るオタマジャクシは、なぜかどれもこれも群れています。この中の何匹が生き残るのでしょうか。蝌蚪も人も力の弱いものは衆をたのんで団結します。しかし、協力し合うことは大事ですが、ただ安易に群れるのはもっとさびしいことです。

名句 鞞韃をゆらして老をなめ鞞しけり 八田木枯

鞞韃をゆらして老を演じけり

黒澤映画には欠かせない名優、志村喬。「生きる」での名演技を思い出します。

名句を変身させてみると、改めて名句の発想の面白さ、斬新さがよく分かります。また、ちょっとした言葉の選び方で句の内容ががらりと変わることも実感できます。

今回の連載での滑稽句は、名句があつてこそその面白さかもしれませんが、名句を変身させることで、滑稽な句を詠むためのヒントを見つけていただけましたら嬉しいです。

おわり

\*参照：角川学芸出版編「覚えておきたい極めつけの名句1000」